

あかびら市議会

かわら版

No. 52

第二回定例会



高橋さん



河村さん



吉田さん



6月17日 本会議の様子

今年も協力してくれた手話通訳の方々

第2回定例会は、6月17日から26日までの10日間の日程で開催され、令和元年度一般会計補正予算、特別会計・事業会計補正予算5件、条例の改正等の議案12件、意見書案6件を審議しました。議案第14号「消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定」は賛成多数で可決、その他の議案はすべて全会一致で可決となりました。(意見書案については6ページに掲載)また、株式会社赤平振興公社の経営状況についての報告を報告済としました。

会派・諸派の代表5名がそ

れぞれ25日26日に改選後初的一般質問をしました。(内容は3ページ以降に抜粋を掲載)

第1回臨時会は、5月14日に開かれ、議長・副議長など選挙8件、委員の選任2件、補正予算など6件を審議しました。(会派構成・議会人事は2ページに掲載)

議長就任に当たり、ご挨拶申し上げます。現在当市にとつての最重要課題は、人口減少に伴う人口の流出対策と人材確保対策であります。人口減少は、地域経済を疲弊させるだけではなく、対策を誤ると将来的にまちの崩壊につながりかねません。当市において若者が定着できること、子育て支援策の充実、心の通った支援体制の確立など、環境整備が急がれます。企業と行政の連携による安定職場の確保など総合的な雇用体制の充実も図る必要があると思いま

す。一方で超高齢化社会における高齢者対策が必要であります。特殊詐欺などに巻き込まれることがないよう、お年寄りに安全、安心な生活環境の中、最後まで豊かな人生を送つていただけるようにしていくことが大切であります。他にも医療、福祉、教育など各分野に課題が山積しておりますが、これらの問題解決に当たり今後議会の果たす役割には大きいものがござります。このたびの改選により新人が3名加わりました。全員が力を合わせ、議会一丸となつて赤平市のために頑張つてまいりたいと思います。最後に議会改革について、これまでも随所で進められてまいりましたが、市民がより納得のいく議会運営とするために、引き続き改革の推進を図つてまいります。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

第一回臨時会

議長就任のご挨拶



若山武信

会派紹介

諸派紹介

新政クラブ

会長
北市勲副会長
御家瀬遵幹事長
竹村恵一

安藤繁



日本共産党



木村恵



公明党

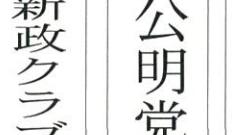


五十嵐美知

民主クラブ

会長
伊藤新一

若山武信

幹事長
東成一

新政クラブ



公明党



パソコン



民主クラブ



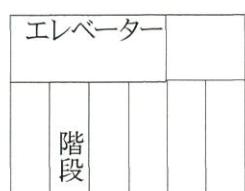
日本共産党



一刻者俱楽部



鈴木明広

会派室図
市役所 3F

本会議場

傍聴席

《議会人事》

議長：若山武信

議会運営委員会委員長：伊藤新一

副議長：竹村恵一

副委員長：安藤繁

監査委員：五十嵐美知

行政常任委員会委員長：御家瀬遵

副委員長：木村恵

新政クラブ**所信表明について**

【質問】「市民アンケート」の実施方法、内容、

回数及び結果の利用について伺う。

【答弁】市民アンケート

の実施は、市の現状と市民の意向を把握する為に、年代別無作為抽出の市民

2,000人を対象に実

施し、各施策に結び付け

ていみたい。更に一度だけではなく掘り下げて聞

きたい案件があれば、テー

マを絞ったアンケートを

行い、次年度以降も継続

して実施する。アンケート

結果については、政策

や事業の可否を問うもの

ではなく、市政運営やま

ちづくりの基礎的な資料として活用する。

【質問】「炭鉄港」の日

本遺産認定についての感想と今後の取り組みにつ

北市 勲

いての考えを伺う。

【答弁】72件の日本遺産登録中16件の認定となり、非常にハードルが高い中、

歴史的価値と地域活性化に繋がるものとして炭鉄港ストーリーが認められたと思っている。今後の

取り組みは、空知、後志、胆振の各振興局や13市町

関係団体で構成する「炭鉄港推進協議会」において連携を図りながら検討していく。

【質問】根室本線対策協議会においてJR北海道への支援として、根室線（滝川～富良野間）の4市

の負担額（475万円）のうち、赤平市負担（110万円）を即日同意した経緯について伺う。

【質問】沿線自治体の赤

平市として通院、通学、通勤などの生活面や観光

面、物流面の視点から、

更に鉄路は繋がることでネットワークを形成する

意味合いから、赤平市と

して根室線の維持、存続を念頭に置き「同意」の決断をした。

【質問】交通弱者（高齢者・

運転免許返納者など）に対する早急な地域公共交通についての考え方を伺う。

【答弁】都会のような交

通網がない過疎地域においては、移動が困難な市

民があり、近々の課題と認識しており、「市民アンケート調査」の分析結果を基に研究していく。

【質問】高齢化が急速す

る中で高齢化社会に対応

した地域交通のあり方について、早急な対応が必要と思うが考え方を伺う。

【答弁】高齢化社会に対応した地域交通のあり方については、近々の課題と認識している。移動手段、困っていること、将来の不安など市民アンケート調査の結果を分析し、研究して参りたい。

【質問】児童福祉施設の充実について、アンケートの結果や、施設の必要性についても分析を行つたうえで、子供子育て支援計画や児童福祉施設整備計画にも反映させていくとの事だが、認定こどもの命が脅かされることがないよう努めていく。

**民主クラブ****伊藤 新一****所信表明について**

【質問】市民アンケートの実施について、その規

模と担当所管、専任者の配置について考え方を伺う。

【質問】沿線自治体の赤

平市として通院、通学、

通勤などの生活面や観光

面、物流面の視点から、

更に鉄路は繋がることで

ネットワークを形成する

意味合いから、赤平市と

的調査については企画課を念頭に置き「同意」の所管し、テーマを絞った調査についてはその業務の所管課と協議をしながら取り組んでいく。専任者の配置については検討して参りたい。

【質問】交通弱者（高齢者・

運転免許返納者など）に対する早急な地域公共交通についての考え方を伺う。

【答弁】都会のような交

通網がない過疎地域においては、移動が困難な市

民があり、近々の課題と認識しており、「市民アンケート調査」の分析結果を基に研究していく。

【質問】高齢化が急速す

る中で高齢化社会に対応

した地域交通のあり方について、早急な対応が必要と思うが考え方を伺う。

【答弁】高齢化社会に対応した地域交通のあり方については、近々の課題と認識している。移動手段、困っていること、将来の不安など市民アンケート調査の結果を分析し、研究して参りたい。

【質問】児童福祉施設の充実について、アンケートの結果や、施設の必要性についても分析を行つたうえで、子供子育て支援計画や児童福祉施設整備計画にも反映させていくとの事だが、認定こどもの命が脅かされることがないよう努めていく。

教育行政執行方針について**教育**

【質問】登校時に危険個

事件・事故が発生しているが、児童の上下校時の通学路における交通安全、

不審者対策について、具体的な対応は考えている

不審者対策について、具

体的な対応は考えている

不審者対策について、具

を分析し、子育て世代が求めるニーズの把握を行い、再度こども子育て会議などにも協力を頂き、必要な応じ児童福祉施設整備計画の見直しに反映する予定としている。

【質問】まず調査の結果

が所管し、テーマを絞つ

た調査についてはその業

務の所管課と協議をしな

がら取り組んでいく。専

任者の配置については検

討して参りたい。

公明党



五十嵐 美知

教育行政執行方針について

【質問】学力向上について、昨年度から取り組まれている子ども塾、公設塾の現状の利用状況や今後の取組みについて伺う。

【答弁】子ども塾は、小学校対象で3ヶ所の児童館・児童センターを合わせ、現在91名の登録で本塾は、中学生全生徒の約18%の28名が通っている。また、公設学習塾は、中学生全生徒の約30%が通っている。

今後は、要望の多い英語を増やしていくため、来年度に向け塾講師と調整している。

【質問】特別な支援を要する児童生徒の増加傾向を受け、子ども達の学びの環境に様々な角度から学習支援が欠かせない状況と思うが、通級指導教室の現状と今後の取組みを伺う。

【答弁】通級指導教室は、昨年度より赤間小学校に教員1名が増員され2名体制になつてある。現在の在籍児童は、小学生で見集約する上で、団体等で参加の場合偏った意見になる可能性もあり、意

見箱などを設置して対応する。週1回、茂尻小学校に巡回指導を行つてある。中学校においては現在、通級指導教室は開設されていいるが、小学生の卒業の動向を注視して開設に向けた検討を行い、道教委に教員の配置を申請していく。

いかと考へる。私は市長となつたが、行政に対しことは好奇心と期待、反感と拒絶の入り混じった目

で見られているのかもしない。政策決定プロセスの確立とは合理的な方法だという期待の半面、具体的な評価手法の未熟さに疑惑を持たれる可能性もある。しかしこの公約の先には問題解決レベルへの配慮があり、その中でも日常業務に多くある発生処理型や現状維持型の問題解決ではなく、新たな目標を設定して近づこうとする課題設定の問題解決、つまり暮らしに身近な政策の実現に期待しているのではないかと考えている。

日本共産党



木村 恵

教育行政執行方針について

【質問】炭鉱遺産について、登録有形文化財申請はしたのか否か、また指定期間はいつ頃ですか。登録された場合の優遇措置及び文化庁からの指導について規定はどうなつてあるのか伺う。

【答弁】現在文化財保護係で申請書を作成中。指定された場合の修理等事

業費国庫補助金は補助率は50%（過疎地域は65%）だが、あくまでも自治体判断によるものですが費用を必要とするものではない。

【質問】指定された場合、保存状態がいくら悪くても改修工事等を国に強制されるとはないのか伺う。

【答弁】基本的には所有権者の判断にゆだねられており、改修等も所有者である自治体判断によるものと思う。

くしたいのが私の一番の願いだ。
いいう市民を一人でも少ないと考へる。私は市長となつたが、行政に対しことは好奇心と期待、反感と拒絶の入り混じった目で見られているのかもしない。政策決定プロセスの確立とは合理的な方法だという期待の半面、具体的な評価手法の未熟さに疑惑を持たれる可能性もある。しかしこの公約の先には問題解決レベルへの配慮があり、その中でも日常業務に多くある発生処理型や現状維持型の問題解決ではなく、新たな目標を設定して近づこうとする課題設定の問題解決、つまり暮らしに身近な政策の実現に期待しているのではないかと考えている。

【質問】期待と反感は生まれるだろうが、政治理念や政治姿勢、具体的な政策を見せる必要があると思う。暮らしに身近な政策の実現とは、具体的に市政の舵取りにあたり、どこに軸足を置くのか。

【答弁】住民福祉の向上を主軸と考えている。すべての市民を幸せにすることは非常に難しいと思うが、ほとほと困つたと

一刻者俱楽部



鈴木明広

所信表明について

【質問】炭鉱遺産活用問題に終止符を打つために

は、中立な立場の歴史的建造物の専門家を中心としたメンバーによる「再検討委員会」を設置して、客観的かつ現実的な方針を仰ぐべきと思うが見解を伺う。

【答弁】学芸員などの職員が重要な文化財等としての価値を立証するべく、調査研究して文化庁などへ報告、連絡事務を取り受けた場合でも、多額の事業費がかかるので現時点では住民の理解合意は得られないで重要な文化財の申請は難しい。また、価値がないという文化方針の「10年後に目指すべき姿を具現化するためには、スタートから5年間の成果と反省を検証し、

教育行政執行方針について

【質問】

学力向上について

副市長 永川龍郎氏
(7月7日付就任)
監査委員 目黒雅晴氏
(7月1日付就任)

人権擁護委員 浅井幸子氏
(6月26日選任同意)
され札幌法務局長へ推薦

株式会社セコマの丸谷智保代表取締役社長を講師に迎え、「地域と共に歩むセコマの経営」という講演をしていただきました。日頃からの地域とのつながりなどについて、胆振東部地震、ブロックアウトの時に自主的な対応をした従業員の取組みなど、コミュニケーションロイヤリティと称して自治体との共存を積極的に行っていると

第29回中空知ふるさと市町村圏議員交流会
7月8日(月)滝川市



全国市議会議長会
議員勤続20年表彰
表彰状を受ける
若山武信議長(写真右)



いうことでした。



役社長 丸谷 智保氏



議会の動き

5/ 8	全員協議会	6/24 行政常任委員会
5/14	第1回臨時会	・森林環境譲与税基金条例の制定
5/24	行政常任委員会 ・給食調理業務の民間委託 ・吉野第一団地建替え ・法改正による災害援助資金等の対応 ・会計年度任用職員制度の導入 ・じん芥処理場等について	・災害弔慰金の支給等に関する条例の改正
	議会改革検討協議会	・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正
6/12	議会運営委員会	・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正
6/17	第2回定例会（～26日） 予算審査特別委員会（正副委員長互選）	・国民健康保険条例の改正 ・介護保険条例の改正 ・消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定
6/18	予算審査特別委員会 令和元年度赤平市一般会計、国民健康保険・靈園・介護保険特別会計、水道・病院事業会計補正予算 議会運営委員会	・エルム高原施設の指定管理に係る方針と今後のスケジュール

◎意見書6件可決

全会一致での採択4件

- * 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- * 「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書
- * 高齢に伴う難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を求める意見書
- * 2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書

賛成多数での採択2件

- * 信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書
- * 2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

※詳しい議決結果及び賛否の公表については赤平市議会ホームページに掲載しています。

かわら版編集委員会
委員長
鈴木 五十嵐 美知成
東 安藤 木村 明広
木村 一繁 恵
(木村)

は担つていると思います。
一端をこの「かわら版」
に報告する。その役割の
一端をこの「かわら版」
に活かし、市民の皆さん
に力を尽くさなければな
りません。市民の皆さん
の声を議会に届け、行政
に活かし、市民の皆さん
に報告する。その役割の
一端をこの「かわら版」
は、見やすく、面白い物
になります。是非ご感想、
ご意見もお待ちしていま
すので、よろしくお願ひ
します。

編集後記

今年は統一地方選挙が行われ、新しい市長と議員の顔ぶれになりました。

改選後初の6月定例会

にはたくさんの市民の方々

が傍聴に来てくださいま

した。市長と市議会は市

民に選ばれた二元代表と

して、市民の皆さんのが負

託にこたえるべく赤平市

の発展と住民福祉の増進

に力を尽くさなければな

りません。市民の皆さん

の声を議会に届け、行政

に活かし、市民の皆さん

に報告する。その役割の

一端をこの「かわら版」